

## (財)川崎市国際交流協会の講師紹介

語学  
講座ことば  
つか  
つか  
言葉は、使えれば使うほどうまくなる!

中国の天津から来た、劉陸です。

中国語は、発音しにくい言語かもしれません。けれども、言葉は使えれば使うほどうまくなつて、自然に身につくものなので、あきらめず続けてほしいです。わたしの日本語はまだ上手ではありませんが、毎日、使わなければならぬおかげで、思ったより早く話せるようになりました。

さて、6年前、私は何も知らないまま日本に来てしまい、生活の中にたくさんの‘あれ?’がありました。初めての‘あれ?’はごみの分別です。中国ではビンとカンと新聞紙とダンボールは売るもので、ほかは全部一緒に捨てられます。日本のごみの分別は、最初は面倒くさいなと思いましたが、だんだん慣れて、環境にもいいことがわかりました。

もう一つは、粗大ごみに収集料が必要なことです。中国では、古くなつていらなくなつた家電製品は、全部売ることができます。日本で、まさかお金がかかるとは!驚きました。中国ではほとんど、回収した人が解体して、分解したものを工場へ送り、換金するのです。中国では人件費が安い為、工場にとって安く生産原料が入手できることは、嬉しいことです。これと違つて、日本ではメーカーに戻して解体するので、人件費がかかります。おそらく、ここで差が出るのかもしれません。国が違うとここまで違うんですね。

中国語講座

講師 刘 陆



川崎で頑張っている

民間交流団体紹介④

た ぶん か かつ どう れん らく きょう ぎ かい  
多文化活動連絡協議会

～主な活動は、「多文化フェスタみぞのくち」という  
マイナリティのための交流イベントです～



ピーター・バラカンさんとの対談▶

高津市民館の事業として始まり市民協働事業へと形を変え、2010年10月23日で12回を迎えます。

フェスタは、川崎市の中央に位置する溝の口のNOCTY2(屋上と高津市民館)で秋の恒例イベントとして定着しています。事前の企画会議では、外国人市民、障がいのある人、子どもの支援者などが、お互いの違いを理解し合いながら、「多文化ステージ」「各国料理屋台」「作品展示・販売」「子ども向け企画」を楽しく形にしていきます。フェスタの特徴である環境への配慮は、マイ食器の推奨や出店者がゴミを持ち帰るということで定着しています。多文化ステージのゲストとしてシンガーソングライター“いわさききょうこ”さんにも会場作りや片付けを含めてボランティアに参加して貢っています。

また、川崎市多文化共生社会推進指針にもある「外国人市民と共に生きる地域づくり」として、外国につながりをもつ子どもへの



▲09年コンサートの後、カラカサンとの集合写真

支援の大切さを多くの方に理解

して貢うための事業と、それに関わる人を増やすためのイベント、講演、講座も継続して実施しています。

多文化共生チャリティコンサート(2010年12月18日高津市民館大ホール)は、外国人の子どもやその支援者が演技を披露する第1部と、外国の音楽をプロが演奏する第2部から構成されます。会場で集められたチャリティは、全額を外国につながりある子どもの支援をしている団体に繋げています。今年は、事前に複数のプレ講座の実施を通じて、その子どもたちの抱える教育問題の理解を深めてからコンサートの観客になって欲しいと考えています。

(文・写真:多文化活動連絡協議会 浪瀬佳子)

## 【問合せ先】

多文化活動連絡協議会

e-mail : mc2006\_nw@mbr.nifty.com

た ぶん か こう さ てん  
多文化交差点③ [タガログ語編]

## 夏だからこそ、バナナ!



▲フィリピン人の子育てグループ“Nipa hut”的トゥロン(バナナ春巻き)

国際理解教育への支援として、フィリピン文化を市内の学校で紹介してきました。あるとき「フィリピンと言えば、何を思い浮かべますか?」と子どもたちに聞いてみたら、「バナナ!」という答えが返ってきました。

そう言えば、スーパーには年中フィリピン産のバナナが置いてありますね。バナナは栄養満点なエネルギー源で、マグネシウム、たんぱく質、ビタミンC、カリウムが含まれています。カリウムは、体内の塩分を排出する効能があり、高血圧の人にはよさそうですね。食物繊維も豊富で、便秘にも効くようです。

フィリピンには数種類のバナナが有り、中でもlatundanと lakatanは生食用なのでそのまま食べられます。調理して食べるのはSabaです。“banána cue”はSabaを油で揚げて、黒糖をまぶして串にします。フィリピンでは移動式の屋台でどこでも売られています。

昨年の「インターナショナル・フェスティバル(P7参照)」で、“turon”(バナナの春巻き)

タガログ語相談担当: 小倉ノエミ



を出しましたが、飛ぶように売れました。Sabaは豚肉や卵を甘辛く煮た料理でも使われます。バナナの花は野菜としてココナツミルクで煮たものがあり、小さい頃から私の大好物です。

バナナの葉は万能です。料理で物を包んだり、パーティーでテーブルクロスとして敷いたり、使い捨てのお皿の代わりになります。アイロンがけの時もアイロンを葉の上におくと葉の液がついで、すいすいスムーズにアイロンがけが出来ますし、布地に光沢がでます。蒸し焼きや、包み料理にも良く使われます。あの焦げた独特のバナナの葉の匂いは子供の頃の思い出と結びついています。最後に、すべすべとした肌触りの“Barong Tagalog”(男性の礼服)はバナナの織維を使って作られた物なので、一年中夏のフィリピンでは高級品で、パーティーやお祭り、お祝いの日にはもってこいです。

▲バナナの葉で  
作った礼服  
“Barong Tagalog”

(文・写真:小倉ノエミ)